

分 かる と 快 感 ！

かい

Z会ナビ

算数 理科 ▶ 社会

お題

1 件の世界遺産に含まれる
たくさんの建物は、
どんなつながりがある？

おうちで楽しく！
プログラミング通信講座、
Z会にて開講中！



Z会 KOOV 検索

多くの世界遺産は、複数の建物や遺跡を組み合わせて1件の世界遺産となっている。1件の世界遺産に含まれる一つ一つの建物や遺跡を、構成資産という。

世界遺産「古都京都の文化財」と、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、それぞれ17、12の構成資産からなっている。それぞれの構成資産はどのように選ばれ、組み合わされているか説明しなさい。

京都の長い歴史を代表する世界遺産

京都は、794年から1868年にかけて天皇がくられた日本の都であり、時代による重要度の上下はありましたが政治・経済・文化の中心です。

「古都京都の文化財」は、その長い歴史をもつ京都に残された17の構成資産からなる世界遺産です。古い時代の構成資産には、京都に平安京が置かれたところに建てられた清水寺・延暦寺、平安貴族の文化を象徴する平等院があります。その後の時代も、室町幕府の将軍が建てた鹿苑寺（金閣）・慈照寺（銀閣）、豊臣秀吉が整備して盛大な花見を行った醍醐寺などがあります。

「古都京都の文化財」の特徴は、最も古い構成資産と最も新しい構成資産の間で、約1000年の差があることです。そのため、それぞれの建物の様式も、建てられた背景もさまざまであり、文化や権力者が移り変わる中でも一貫して京都に都が置かれていたことをよく表します。一方、狭い範囲に構成資産が集中していることも特徴です。17の構成資産は、京都市、京都府宇治市、滋賀県大津市にまたがりますが、いずれも京都駅から約12kmの範囲に位置します。

このように「古都京都の文化財」の構成資産は、歴史の視点だと幅広く、地理の視点だとピンポイントで選ばれており、「京都」という都市の代表となるように組み合わされています。

長い歴史を持つ都市の世界遺産として、イスタンブール（トルコ）、パリ（フランス）があります。

キリシタンの歴史

室町時代の末から安土桃山時代、江戸時代、明治時代初めの日本にいたキリシタン教徒をキリシタンといいます。



イラスト：瑞木匠

室町時代の末にキリスト教が日本に伝わると、スペインやポルトガルの宣教師がキリシタンを増やしていきました。江戸時代になり、国内でのヨーロッパの勢力が強まるにつれて江戸幕府はキリスト教への弾圧を強めていき、宣教師の追放、キリスト教の禁止などの命令を出していきます。そして、1637年に島原・天草一揆（島原の乱）が現在の長崎県・熊本県で起こります。

島原・天草一揆は、年貢の厳しい取り立てに苦しんだ農民が起こした一揆です。その中に多数のキリシタンが含まれていたことから、幕府はヨーロッパとの交流の制限とキリスト教の取り締まりを徹底することにしました。キリシタンを見つけたら仏教徒になるよう強く迫り、亡くなるまで拷問を加えることもありました。その時代に、幕府に見つからないよう仏教徒を装うなどしながら、心の内でキリスト教を信仰し続けた人々がいました。これを潜伏キリシタンといいます。

約250年後、江戸時代末に開国すると、フランス人が長崎に大浦天主堂を建てました。そして、1865年、そこにキリシタン十数人が訪れ、信仰を告白しました。250年もの間キリスト教が禁止されていた国で、隠れて信仰を守っていた人がいたことは、日本とヨーロッパに衝撃を与えました。このできごとを信徒発見といいます。その後、各地の潜伏キリシタンの存在が明らかになりました。

ある熊本県の天草諸島、長崎県の九州本土の北端に向かい合う平戸島、長崎市から80～100kmに西に位置する五島列島などに位置しています。

歴史の視点では、潜伏キリシタンという非常に限定されたテーマの歴史を、初めから終わりまで説明できるように構成資産が選ばれています。キリシタンが潜伏するきっかけとなった島原・天草一揆でキリシタンらが立てこもった原城跡、信仰を守るためのさまざまな工夫がなされた各地の潜伏キリシタンの集落、信徒発見の舞台となった大浦天主堂などです。

このように、テーマに沿って組み合わされた構成資産をシリアル・プロパティ（関連性のある資産群）といいます。近年の世界遺産登録の審査では、この「関連性」が重視される傾向にあります。構成資産を個別に見るのではなく、歴史の流れに沿って見ていくと、より深く、世界遺産のもつ価値を理解できるでしょう。（Z会・河合新）

！
今回の
教訓

社会の勉強をするときは、たくさんの言葉を感じる必要があります。言葉を個別に覚えるだけでなく、地理や歴史の大きな枠組みの中でもつ意味を踏まえていくと、より有意義な学習になります。

キリシタンの歴史を説明する世界遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、構成資産が広範囲に散らばっています。長崎県の南東に突き出た島原半島や、そのさらに南に



河合新さん 2010年Z会入社。小学生向けの社会の教材編集を担当。趣味は地図や映画を見ること。1984年岐阜県高山市生まれ。